

第697回

## I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

I B Cテレビ

「HR I w a t e ～若き挑戦者たちが描く未来～」

2025年2月20日（木）

(株) I B C 岩手放送

## 第697回IBC番組審議会

1. 開催日時 2025年2月20日(木) 午前11時

2. 開催場所 IBC岩手放送 Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名  
出席委員 9名

### 出席委員の氏名

委員長	田代 高章
副委員長	熊谷 志衣子
委員	高橋 司
	四戸 聡
	繁田 奈菜子
	後藤 高宏
	菊地 文彦
	柴田 千春 (レポート)
	龍澤 尚孝 (レポート)

欠席委員の氏名 澤口 たまみ

### 会社側出席者

眞下 卓也	代表取締役社長
八木 宏樹	常務取締役編成局長
兼平 宗彦	取締役メディアセンター長
小野寺久穂	報道制作部担当部長

### 事務局

藤原 崇史	番組審議会事務局長
切替 郁恵	番組審議会事務局員
平澤 泰志	番組審議会事務局員

4. 議 題

IBC テレビ 2月9日(日) 午後3時30分～午後4時24分 放送  
「HR I w a t e～若き挑戦者たちが描く未来～」

## 5. 議事の概要

### <委員の主な発言>

- 高校生と高専生の探求の活動で、自分たちで地域の課題を見つけ、解決策を試行錯誤をしながら見つけて考えていく、その中で地域の産業とか企業と関わりながら、という取り組みだった。今の高校、高専の学習のあり方というのが、こういうことも含めて行われているんだなという気づきがあった。一方、非常に難しいテーマにチャレンジした感じがした。
- 高校生、高専生だからこそ気がつく身近なテーマや課題は面白いと感じた。大人は大それたことを考えがちだが、アイデアのヒントというのは身近なところにあると改めて感じさせられた。今後もこのような若者たちの活動を継続的に取材いただき、その取り組みを伝えて欲しいと思う。
- 発表まで楽しそうに生き生き活動している様子を見て応援したくなった。
- 「HR I w a t e」の活動の意味とか発端もよくわからないし、「TOLIC」とか、プロジェクトのつながりや高校生のかかわり方が説明不足で、わかりにくい所があった。探究型学習の背景なども説明があった方が良かった。
- どうして盛岡一高と一関高専だけなのかよくわからなかったし、ビジネスのコンテストと「TOLIC」が出展したドイツの国際医療機器展の組み合わせも詰め込みすぎという気がして、全体的にちょっと少し難しい内容だった。
- HR賞を受賞した「学校資源の循環化」に取り組んだチームについては、検討模様とか、悩んで苦しんで一生懸命議論しているとか、密着の紹介があるといいと思った。
- 国際医療機器展に高校生を連れて行って、色々その世界を見せる。実際に商談の場を体験してもらうのは、すごく先進的な取り組みで良いことと感じた。取材した地元テレビ局の意欲も感じる。